

報告事項 5

高等専門学校機関別認証評価の結果について

平成27年度に神戸市立工業高等専門学校が独立行政法人大学評価・学位授与機構による機関別認証評価を受験し、高等専門学校評価基準を満たしているとの結果が平成28年3月24日に示されたことを、別紙のとおり報告する。

平成28年4月26日提出

神戸市教育委員会

教育長 雪 村 新 之 助

【参考資料】

平成27年度実施高等専門学校機関別認証評価 評価報告書

平成27年度実施選択的評価事項に係る評価 評価報告書

I 認証評価結果

神戸市立工業高等専門学校は、高等専門学校設置基準をはじめ関係法令に適合し、大学評価・学位授与機構が定める高等専門学校評価基準を満たしている。

主な優れた点として、次のことが挙げられる。

- 専攻科課程2年次の「エンジニアリングデザイン演習」では、それまでの学習により総合的な知識を身に付けた複数の専攻の学生らが混合でグループを組織して、与えられた目標（テーマ）に対して自ら取組方法を考案しながら問題解決を図る中で創造性を育む工夫を行っている。
- 学生に、学習支援データベースで学期末に各授業科目の到達目標の達成度を5段階で自己評価させ、その結果をもとに各時点における学習・教育目標ごとの達成度を算出するシステムを定着させ、各学生が学習・教育目標の達成状況を確認できるようにしているとともに、その出力結果を学校としての達成状況の把握・評価に活用している。
- 就職について、準学士課程、専攻科課程ともに就職率（就職者数／就職希望者数）は極めて高く、就職先も製造業や情報通信業、学術研究、専門・技術サービス業、運輸業、郵便業関連などの当校が育成する技術者像にふさわしいものとなっている。進学についても、準学士課程、専攻科課程ともに進学率（進学者数／進学希望者数）は極めて高く、進学先も学科・専攻の分野に関連した高等専門学校の専攻科や大学の工学系の学部や研究科となっている。
- 4年次生進路ガイダンス等の通常の進路指導に加え、低学年からキャリアプランに関するテキストを用いた学習、現場視察による学習、卒業生等による経験談の聴講等、キャリア教育を体系的に実施している。
- 神戸高専P D C Aサイクルに従って教育活動に関する各種の評価結果を教育の改善に結び付けるシステムが整備されており、全学的エンジニアリングデザイン教育の実施、海外インターンシップの実施、女性教員の積極的採用などの方策が講じられている。

る。

- 学生による授業アンケート結果に対して、担当教員が分析と改善対策を授業アンケートシートにまとめ、校内ウェブサイトで公表することにより、授業アンケート結果及びそれに対する教員のコメント等を学生にもフィードバックする仕組みを構築している。

主な改善を要する点として、次のことが挙げられる。

- 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）を構成する求める学生像は明文化されているものの、もう一つの構成要素である入学者選抜の基本方針が明文化されていない。

【今後の対応】

文部科学省が求める次の3点を含んだ入学者受け入れ方針について、校内の入試委員会で検討し、9月の入試説明会までに明文化する予定である。

- ・ 高専教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか
- ・ 入学者に求める能力は何か
- ・ 中学校段階までに培ってきたどのような能力をどのように評価するのか

II 選択的評価事項に係る評価結果

神戸市立工業高等専門学校は、大学評価・学位授与機構が定める「選択的評価事項A 研究活動の状況」において、目的の達成状況が良好である。

神戸市立工業高等専門学校は、大学評価・学位授与機構が定める「選択的評価事項B 正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」において、目的の達成状況が良好である。